

すずき歯科医院

第18号

デンタルニュース

DENTAL NEWS

2010年

9月号



みなさん、こんにちは。すずき歯科医院、院長の鈴木です。
9月20日は敬老の日です。敬老の日の起源をご存知ですか？兵庫県多可郡野間谷村で、「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村づくりをしよう」と1947年に9月15日を「年寄りの日」として制定されたものが全国へ広がったと言われています。敬老の日には長寿を祝う物などを贈る習慣があります。おいしく食べ物が食べられると健康を増進する効果があります。大切なご両親の健康のために、高性能の金属床義歯やインプラント治療をプレゼントする方も増えています。

すずき歯科医院からのお知らせ



大切な歯と永くつきあうために、
定期健診を受けましょう。



すずき歯科医院

住 所 伊勢崎市境下湊名1158

電 話 0270-70-6480

FAX 0270-70-6481

診療科目 一般歯科、小児歯科、歯列育成（矯正歯科）、審美歯科、
歯科口腔外科、インプラント、予防健診（ライフサポート）

受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:00	○	○	○	休診	○	○
午後 14:00~17:30	○	○	○	休診	○	○ (~16:00)

休診日：日曜・祝日・木曜（祭日のある週は診療いたします。ハッピーマンデーの週は休診）

入れ歯にはいろいろな種類があるの？

歯を失っても生きていられるのは人間だけと言われるほど、歯は動物が生きていく上でとても大切なものです。ところが75歳以上の歯の本数は、平均10本前後とされています。

現在の日本の義歯人口は、2006年の調べで約2600万人。

なんと5人に1人が入れ歯を装着している計算になります。

最近ではインプラント治療が広がってきましたが、入れ歯は最も普及している治療法です。



1. 部分入れ歯

①保険の部分義歯：保険ではクラスプというバネをプラスチックの義歯につけて歯に固定します。バネを固定するため隣の歯の根もとを削るので、きちんと歯磨きをしないと、むし歯や歯周病になり抜けてしまうことがあります。

②自費の部分義歯：自費では「ノンクラスプデンチャー」というバネが目立たない義歯が人気があります。スマイルデンチャーやバルプラストなどの名称で色々なものが開発されています。弾力のある素材で歯茎を挟み込む方式です。多少は固定する部分の歯を削りますが、バネがないので入れ歯であることが気付かれにくいのです。抜けてしまった歯が多い場合は、金属の床をもつ義歯を作ります。よく噛めて満足度の高い方法です。



ノンクラスプデンチャー

2. 総入れ歯

①保険の総入れ歯：保険ではプラスチックで床を作るので、上顎の入れ歯は分厚くなり違和感が出がちです。食べ物の温度も固さも分からなくなります。プラスチックなので、強度を出そうとすると分厚くなって違和感が大きくなります。違和感を少なくするため薄くすると、固いものを食べたときに割れてしまうことがあります。また、1年くらいで摩耗してきるときがあります。

②自費の総入れ歯：自費では高性能の入れ歯が開発されています。金属の床をもつものを「金属床義歯」と呼びます。コバルトクロムやチタン合金でできた床を使用します。食べたものの温度が伝わりやすく、軽くて丈夫で上顎に密着しますのでよく噛める入れ歯です。さらに、強い磁石やはめ込み式の固定装置で義歯を上顎に固定する方法があります。外れにくく満足度が高い方法です。ただし、磁石のものは心臓ペースメーカーを装着している方には使えません。はめこみ式も着脱を繰り返すうちに弱くなってきます。



金属床

きちんと噛むにはメンテナンスが大切！

実は自分に本当にあった入れ歯を作るのはそう簡単なことではありません。なぜなら、お口の中は十人十色であり、義歯はそれぞれのお口に合わせ、一つ一つオーダーメイドで作られるとてもデリケートなものだからです。また、少しずつお口の中の形状が変わってきます。一度作れば何十年も同じものを使えるというわけではありません。義歯で何か不快や不都合を感じたら無理に我慢せず歯科医院で相談し、調整してもらるか新しく作り変えましょう。